

新型コロナワクチン接種情報 << 2 >>

R3. 2. 19 現在の情報です。記述内容は今後変更になることがあります。

◆対象者: 16歳以上の方になります。



◆接種開始時期 令和3年4月1日以降です。詳細な日程は決まり次第お知らせします

◆接種場所

まずは、かかりつけ医で接種されることをお勧めしています。誰もが経験のないワクチン。かかりつけ医はあなたの体調、治療状況、これまでのインフルエンザ等のワクチン接種の状況を把握したうえで接種します。市外にかかりつけ医がいる方は、市外での接種が可能です。また、病院は滅多に行かない、診療時間内に行けない方のために、**市では公共施設での集団接種の会場を設ける予定です。予約方法は今後お知らせします。**

◆高齢者や基礎疾患を持つ方の接種についての考え方

令和3年2月15日、国の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会の資料が厚生労働省ホームページに公開されています。先に実施している海外の接種後の死亡事例や死亡率、接種と接種後に起きた病気や症状との因果関係などが掲載されています。

海外では

- ・重症化リスクは年齢とともに急激に上昇。高齢者においてもワクチン接種の有益性が、リスクを上回ることが示唆され、自然発生の死亡率と明らかな差はない。
- ・基礎疾患を有する者は新型コロナ感染症に罹った場合、重症化リスクが高いことから接種の利益が大きいと考えられるが、基礎疾患が（偶然の場合も含め）悪化する事例が報告される可能性がある。基礎疾患の状態が悪化している場合や全身状態が悪い者などについては、特に慎重に判断する必要があるとの記述があります。

◆新型コロナ感染症のリスクを考える

新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち**重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある方です。**

重症化のリスクとなる基礎疾患には、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満があります。

また、妊婦や喫煙歴なども、重症化しやすいかは明らかでないものの、注意が必要とされています。

30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
重症化率	0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合。

厚生労働省作成「新型コロナウイルス感染症の“いま”についての10の知識(2020年11月時点)」より作成

薬事承認されたファイザー社ワクチンの情報

◆2回接種します

ワクチンの効果を十分得るためには、**同じワクチンを3週間空けて2回受ける**必要があります。接種後に現れた症状の種類によっては、2回目の接種をしない方がよいこともあります。



◆副反応のこと

接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

アナフィラキシー 米国では 100万人に5人	<ul style="list-style-type: none">・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。・起こることは極めてまれですが、接種後にもアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。
血管迷走神経反射	<ul style="list-style-type: none">・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常、横になって休めば自然に回復します。・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子をみてください。

ワクチンを受けた日の 注意点

- 激しい運動は控えてください。
- 接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分は強くこすらないようにしましょう。



接種後、数日以内に現れる可能性のある症状について

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10-50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1-10%	吐き気、嘔吐

コミナティ®添付文書より改編

- インフルエンザ等のワクチンより痛みが強いと感じる方もいます。
- これらの症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。
- 疲労や関節痛、発熱など、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もあります。

(副反応の発現割合は、医療従事者等の先行接種・健康調査により今後変化する可能性もあります。)

接種後に気になる症状が現れた方は、**ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。**

ワクチン接種を受ける、受けない、個人の意思はどちらも尊重されます。

◆厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター



新型コロナワクチンに関するTEL相談窓口です

電話番号:0120-761770(フリーダイヤル)

受付時間:9時00分~21時00分

新型コロナワクチン詳細情報 厚生労働省ホームページ

厚労 コロナ ワクチン

検索